



GLOBAL MAPPING NewsLetter 58

地球地図ブルガリア第2版公開

アレクサンダー・ラザロフ

地球地図第2版公開がブルガリアを皮切りに開始されたことを光栄に思っております。

ブルガリアは 2008 年に地球地図プロジェクトに参加し、第 1 版の仕様に準じて同年の 9 月から地図作成を開始しました。ブルガリア測地・地図・地籍庁は、自前のリソース（能力・組織・専門家）によりプロジェクトを実施しています。

地球地図の作成においては、さまざまな基礎資料から地理データを収集、活用しています。そして、要求された仕様に準拠するようデータを処理・準備しました。

データ処理には GIS ソフトウェア製品の標準機能とカスタムで開発したスクリプトを使用しましたが、これにより質の高い成果物を完成させることができました。

プロジェクト参加の意義およびきっかけは、環境保護、環境保全とともに、自然災害や大変動の早期予報や被害者救済に向け、プロジェクト開発と実施の知見を得ることでした。

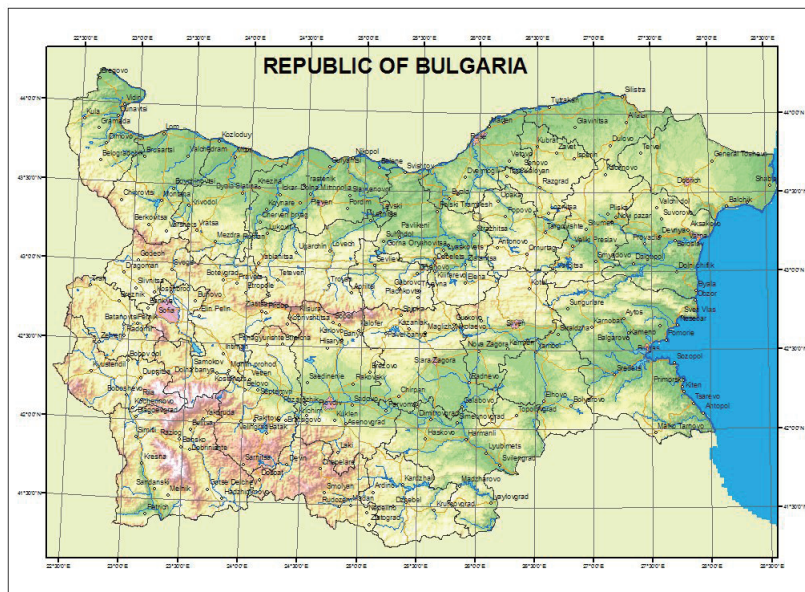
協力各国の専門家の取組みと ISCGM との良き協力関係を得て、地理空間データを基礎にプロジェクトを推進し、当初の目標を達成することができました。



今後は、ウェブベースのアプリケーションを開発して、ブルガリアのデータを自然条件の似通った他国のデータと様々な基準で比較分析して、その結果を適切に表示する環境の実現を目指しています。こうしたアプリケーションが開発されると、ある同種の地形（山間部または平野）に対して、人口、道路網、地域開発、農業、森林などの各指標によって各地域の比較研究を高い精度で実施できるようになります。

ISCGM 主催のフォーラムで講義と実習に参加機会があれば、ブルガリアの専門家はぜひとも喜んで参加したいと思っております。こうした機会を通じて、地球地図プロジェクトの認識および知識を深め、プロジェクトの開発および推進を行いたいと考えています。

ブルガリア
測地・地図・地籍庁
エクゼクティブ ディレクター
アレクサンダー・ラザロフ



地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会 (UNCE-GGIM) 第2回準備会合報告

ISCGM事務局

2010 年 5 月 10 ～ 11 日、ニューヨークで開催された地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会 (UNCE-GGIM) 第 2 回準備会合にフレイザー・テイラー教授 (ISCGM 委員長) 及び福島芳和 ISCGM 事務局長 が出席しました。この会合は国連経済社会局統計部と国連フィールド支援局地図課の共催で開催されたもので、16 カ国及び 15 の地域と国際機関からの代表が参加しました。

UNCE-GGIM は、地球規模の地理空間情報管理に関する重要課題を検討・調整するグローバルな機構です。第 1 回準備会合は 2009 年 10 月にバンコクで開催され、UNCE-GGIM 設立に向けて国連加盟国及び関連機関が討議を行いました。今回の会合は、これに続く 2 回目となります。今回の会合の主要議題は、地理空間情報



ISCGM 委員長 フレイザー・テイラー教授

管理に関する現在のイニシアティブ及び重要課題、並びに世界会議及び UNCE-GGIM の運営規約 (TOR) でした。

会合に先立ち、ISCGM から UNCE-GGIM に関する意見書を提出しました。意見書には、地球地図プロジェクトの経験を踏まえて、地理空間情報への統計データ統合の必要性、能力開発



会合の様子

の重要性、国際標準の普及などを記述しました。会合において ISCGM は、GGIM の設立に地球地図プロジェクトの経験を生かせる点を強調しました。また、気候変動問題及び災害危機管理に対するグローバルな対応を促進するのに、地球地図が良い先例となりうることも認識されました。

結論として、国連の後押しを受けた GGIM に関するグローバルな機構が不可欠であるとの合意に至りました。2011 年の設立に向けた UNCE-



ISCGM 事務局長 福島 芳和

GGIM 枠組みに関する報告が、2010 年 7 月に国連経済社会理事会 (ECOSOC) に提出される予定です。

**JICA 集団研修
環境地図（地球地図）作成コース開講**
国土地理院



本年度から地球地図に関する新しい JICA 集団研修コースである "Global Mapping for Sustainable Development" が始まりました。本研修では、昨年 10 月に採択された新仕様（地球地図仕様第 2 版）に則した地球地図データの整備・更新を行う技術を身に付けるとともに、データの利活用方策についても学びます。

本年度はバングラデシュ、ブータン、ケニア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、東ティモール、ウズベキスタンの 8 カ国の国家地図作成機関から 8 名が参加しています。6 月 24 日～9 月 3 日まで国土地理院で研修生の受け入れを行います。次号のニュースレターで研修の様子を詳しく紹介します。

事務局から

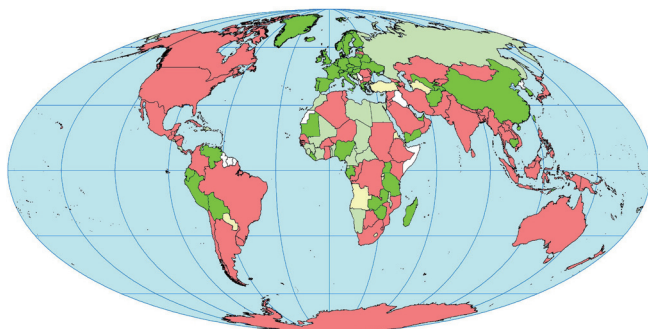
地球地図国際運営委員会第17回会合開催のお知らせ

日時：2010 年 10 月 17 日 10～16 時（予定）

場所：ラッフルズホテル、シンガポール

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2010 年 6 月 25 日現在、164 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。そのうち 71 カ国 / 4 地域の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ作成中
- プロジェクト参加を検討中
- プロジェクト未参加

本図は参考のために作成したものであり、国境についてはいかなる組織によっても公認されたものではありません。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2010 年

- ・ 10 月、シンガポール
第 17 回 ISCGM 会合
- ・ 10 月 18 日～22 日、シンガポール
第 16 回 PCGIAP 会合
- ・ 10 月 19 日～22 日、シンガポール
GSDI 12 会議

- ・ 11 月 3 日～5 日、中国
GEO- VII
- ・ 12 月 9 日～10 日、オーストラリア、キャンベラ
第 31 回 ISO/TC 211 本会議

2011 年

- ・ 7 月 3 日～8 日、フランス、パリ
第 25 回国際地図学会議（ICC2011）



NEWSLETTER は地球地図情報紙として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org